

# 新年度予算きまる

## 総額83,351,700円

### 昨年比960余万円の増加



発行所 郡役場  
 発行部 北町  
 編集者 佐藤一郎  
 編集主任 杉本  
 編集係 杉本  
 発行部 合川町役場  
 TEL 合川4番  
 (1回発行部数2,450)

## 三月定例町会 提出議案

- 一、昭和三十一年度決算の認定について
- 二、昭和三十三年都合川町才出才出予算
- 三、同国保特別会計才出才出予算
- 四、同国保直営診療施設特別会計才出才出予算
- 五、同保育施設特別会計才出才出予算
- 六、予算の款内流用について
- 七、一時借入をなすことに
- 八、昭和三十三年都合川町会計現金預入先決定について
- 九、昭和三十三年度における合川町収入役の手持現金の決定について
- 一〇、財産及び償造物に関する条例の制定について
- 一一、契約条例の制定について
- 一二、町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 一三、財政再建計画の変更について
- 一四、昭和三十三年都合川町才出才出追加更正予算
- 一五、同国保特別会計才出才出追加更正予算
- 一六、同国保直営診療施設特別会計才出才出追加更正予算
- 一七、昭和三十三年都合川町消防施設特別会計才出才出予算
- 一八、寄附採納について
- 一九、固定資産評価審査委員会委員の補充選任について
- 二〇、選挙管理委員会委員の選挙について
- 二一、薪炭材の払下げについて
- 二二、用材の払下げについて
- 二三、薪炭材の払下げについて
- 二四、財産処分について
- 二五、簡易郵便局設置について
- 二六、新町建設計画の調整について

## 三月定例会における 施政方針の大綱



昭和三十三年度予算案をはじめ各議案を審議する三月定例町議会は去る三月十九日役場会議室に招集され会期を二十八日までの十日間と定め、提出議案二十六件について連日慎重なる審議を重ねた結果二十八日いづれも原案どおり可決した。

島山町長は開会へき頭において別項のとおり本年度施政の方針及び予算の概要について議会で説明したが本年度の当初予算総額(一般、特別両会計)は八千三百三十五万一千七百円で昨年度と比較して九百六十六万三百円の増である。

### 両者協力して 漸次立町の精神確立へ

昭和三十三年度予算案を骨子とする三月定例町議会の冒頭にあたり所懐の一端を述べ、あわせて昭和三十三年度予算案の大綱を説明申上げた。

合川町の初年度である昭和三十一年度から三十二年度へかけては法律的に合併した町村でありながら、多年の伝統を持つ四カ村の農村事務にわたる引継事務とそれに附帯する行政に追いつけぬが併せて新しい町である合川町の結構を作りそれ肉を付け血を通わせる仕

### 好転の途を辿りつつも 続く財政困難

しかしながら財政的には旧村と新町の赤字を背負い財政再建団体となり苦しいあゆみを続けつつあるのであるが、これも各位の絶大な御支援により御同情的に御援助を賜り、昭和三十三年度予算案の追加更正予算で処理され合川町の第四年度である本年

以上のように合併以来の財政的経緯のほかに火災、水害等の頻発によつてさらには悪化した財政状態にもかかわらず、漸くにして正常に復元できる見通しのついたことを喜ぶたい。

### 町辞令

- 合川町事務員を命ずる 鈴木 一男
- 合川町教育委員会を命ずる 鈴木 一男
- 合川町技術員を命ずる 福田 一男
- 合川町立合川病院勤務を命ずる 福田 一男
- 合川町立合川病院勤務を命ずる 福田 一男
- 合川町立合川病院勤務を命ずる 福田 一男

町才出才出追加更正予算、教育施設の充実等を將略農振興事業費、消防費に來にわたつて考へるとわが町に財政は今後の建設投資の途を辿らねばならぬと考へられる。

このときあたり、新町才入についてみると、町民の財政基礎を確立し将来の町道橋梁を年次計画による増税を考へないでいく方針を改築等を主体とする諸施策を進めるには乏しい町民の負担にのみ頼るわけには考へていない。

そのほか町自体の仕事のほかに国庫の所管に属する林小芦沢(百十町歩)の土地の立木の払下げ方を七座管林署を通じて進達していたが、その可否の焦点となる林野経営上については支障がないとの結論を得ていたところ大蔵省令による増担保の関係で隘路に立たされたわけである。

しかしこの問題も最近になつて参議院地方行政委員会の審議の結果、省令の一部改正が行われ隘路が展かれようとする情勢になつて來ている。

もちろん今後益々各位の協力を得てその実現に努力しなければならぬのであつたが、この法律は昭和三十三年の期限法であり、五年までの期限法であり、早く早い機会に払下げの実現を、わが町の財政的基礎の確立に寄与したい所存である。

合川町の青年、婦人団体グループの意識は向上し、全体的にも立派な水準を持つことは将来の町の産業経済、教育文化等に寄与する原動力となるものと信じ、その健全なる活動を大いに助長する方針である。

わが合川町は幸い東北の農村としては比較的封建性から脱脚しつつあり、われわれはその間にあつて民主主義を誤つて解釈した行動を是正しつ、地方自治体として民意を総括した不偏不偏の行政を推進していかなばならぬと思つてゐる。

以上私が述べたことは、それぞれ町議会の理解と協力によつてのみ可能であるわけであり、今後ともよろしく御叱正御鞭撻の程をお願いする次第である。

昭和三十三年度の予算に於いては別項で詳細説明することにしたが、才出部門についてみると教育費、

用務員 齋藤 吉男  
 (南支所)  
 合川町教育委員会を命ずる  
 (以上四月一日付)

教育委員会辞令  
 鈴木 一男  
 合川町教育委員会事務局職  
 員に任命する  
 用務員 齋藤 吉男  
 町立合川小学校勤務を命ずる  
 (以上四月一日付)

三月のメモから

1日 議長、常任委員長会  
 議  
 酪農青年協議会結成式  
 6日 町職員採用試験合格者発表  
 8日 新町建設審議会第二分科委員会  
 10日 日赤奉仕団合川支部結成大会(知事夫人来町講演)  
 12日 議会全員協議会  
 13日 新町建設審議会第一分科委員会  
 14日 町立病院運営委員会協議会(病院)  
 16日 農業関係協議会  
 18日 新町建設審議会第三分科委員会  
 合川町PTA連絡協議会(東中学校)  
 教育委員会  
 19日 議会定例会招集(会期を二十八日までとす)  
 21日 新町建設審議会第二分科委員会  
 新町建設審議会全体会議  
 29日 議会総務委員会  
 31日 教職員異動発令

慶弔だより  
 (自一、一至三、三二)  
 出生 (四二)  
 齋藤富夫、理喜朗長男、下杉正田義昭、仁助孫、上杉今泉正子、喜代松孫、道城



- 組合長に佐藤氏再選  
 町職組役員改選
- 合川町役場職員組合(七名、組合長佐藤秀二氏)では去る十九日三十二年定期大会を開き明年度運動方針、事業計画、才出才出予算などについて協議した結果、新年度役員として次のとおり選出された。
- 組合長 佐藤 秀二 (支所)(再)  
 副組合長 藤島 啓三 (民生)(同)  
 書記長 松橋 新一 (民生)(同)  
 執行委員  
 佐藤 陽三 (総務)(新)  
 桜井 栄治 (保険)(再)  
 木村 仁衛 (経済)(同)  
 佐藤 昭蔵 (総務)(同)  
 福岡 昭二 (病院)(新)  
 金 式子 (民生)(同)  
 鈴木 一男 (教委)(同)  
 計監査委員  
 杉淵 佐一郎 (総務)(再)  
 村形 殿丸 (農委)(新)
- 合川連青新役員  
 町連合青年会ではこのたび役員改選を行つたが新役員は次のとおりきまつた。
- 会長 鈴木 一男  
 副会長 武石 新一  
 事務局長 佐藤 勇助  
 文化部長 木村 仁衛  
 体育部長 福岡 竜一  
 社会部長 金田 洋三  
 産業部長 工藤 久男  
 家政部長 梅田 清一  
 照子

たばこは  
 合川町内で  
 買いましょう

# 一夜にして三橋を流失

## 二十一日夜半の水害

去る二十一日朝から夜半にかけて当地方を襲った豪雨は、折柄の融雪を伴い、各地に甚大な被害を与えたが、本町でもとくに南、西の両地区に被害が多く、一瞬にして橋梁三を流失したほか道路、河川、耕地の災害続出という大水害となった。

### 二十三日現在町当局に

直後の苗代被害で、冠水十期待されている。とまつた被害状況調査の結果、一町、埋没約三町歩にのぼる。果によると、県道鎌沢橋及び阿仁川橋(仮橋)町道新農家を悲嘆のどん底におと田目橋がそれぞれ流失、その他山林の地切りや林の他護岸十カ所、堤防八カ所が流失または欠壊したほか、農道約三〇〇米も流失した。

耕地関係でも田畑四反約四百十町歩が冠水、四反歩が流失、十五町歩が埋没した。もつとも悲惨なのは播種

以上が才入五千四百十九万四千円のあらましであるが、では次に才出の面について追ってふれてみることにしよう。

同橋は実施設計の段階に入っているが、延長約一五〇米、巾員三、六米の木橋であり、懸案の中央公民館建設が予定されこれが完成するにつれては財源の見通しに大きな発展が期待される形となったようである。

### 議会費と役員費

議会費及び役員費は昨年度における町職員のベースアップに伴う増のほかに燃料費その他の必要量が若干増加した程度であり、一般的内容には大した変化はないが総額にして約一、二七〇万円となり町算全体の一〇〇%強となっている。

これは、林業経営区の改編によつて合川町、上小阿仁村が一つの経営区となつたことによつて実現したもので、今後の造林や伐採資金の借入等の林業指導に大きな利益をもたらすものと期待が大きい。

### 従来滞りを一掃

合川町は誕生以来相次ぐ火災、水害に悩まされ、それに付随して消防費も各年度の計画が実行出来なかつたが、昭和三十三年度追加更正でこれを一掃、それととも三十三年度には第三分団(西地区)自動車ポンプ購入費負担分五〇万円(三十四年度も同額計上予定)第二分団(北地区)ポンプ購入に一五〇万円、鉄製望楼一基(場所未定)五〇万円をそれぞれ地元負担と同額を計上したほか、ホース二十本購入費として二十八万円を見込み、さらに南地区には水防倉庫設置費として十六万八千円を計上する等今年度の消防予算は旧年に比しぐつと好転したものとみていると思われ。

### 多面的な農業指導と集団的な農業経営意識の向上

農業費について見ると、約一九二万円が土壤調査費の助成その他に計上されている。土壤調査は昨年度まで完了したので今年度は北、西両地区へその主力が注がれることとなる。

### 健全財政を固める才入

才入に關してみると町税は去年度と同様であり、自動車税は廃止の予定であるが、これに替る財源が決定していないので一応計上されている。しかしこれは実際には賦課にならないものと見てよいであろう。

### 公債償還に七三三万円

公債費はいわゆる借金の返済費用のことであるが、今年度は元利合計で約七三三万円が計上されている。これは主として長期債の年賦償還にあてられるわけであるが、年間七三三万円という額は当町財政の苦しさそのままだと反映しているといえよう。

# 今年町の予算はこうだ

## 町長の予算説明から

わが町が重大な関心を持つていることである。川町の昭和三十三年年度予算案を拝見し、これを骨子として今年度予算の展望をこころみることにした。別項掲載の予算を対照して、いささかたりとも町民各位の町行政に対する関心が深まり、町政への理解と協力が得られるならば幸いと思ふものである。(杉澤)

この直線道路橋梁は約一〇〇万円の工費が予想されているので、来年度より二、三年継続事業となるわけであるが、情勢次第では次年度分までも繰上げ施行し待出来るものがある。

これは、林業経営区の改編によつて合川町、上小阿仁村が一つの経営区となつたことによつて実現したもので、今後の造林や伐採資金の借入等の林業指導に大きな利益をもたらすものと期待が大きい。

### 法律改正で変化

才入に關してみると町税は去年度と同様であり、自動車税は廃止の予定であるが、これに替る財源が決定していないので一応計上されている。しかしこれは実際には賦課にならないものと見てよいであろう。

### 直線道路橋の着工と防災事業の見通し

ある直線道路も財政あるいは潰地の問題を克服しながら土工事は殆んど完了し、いよいよ今年度からは橋梁の着工に主力を傾け、予算として六〇〇万円が計上されている。

### 優先された教育費

教育費をみると昨年度より約一三〇万円の増となり増額になった関係で今年度も引き続き増加することになり、一日十五人の枠で事業を行うべく事業費約一五〇万円が確保されている。

### 失対事業

失業対策事業は本年度は打切りになる公算が強かつたのであるが、国の予算が増額になった関係で今年度も引き続き増加することになり、一日十五人の枠で事業を行うべく事業費約一五〇万円が確保されている。

### 多面的な農業指導と集団的な農業経営意識の向上

農業費について見ると、約一九二万円が土壤調査費の助成その他に計上されている。土壤調査は昨年度まで完了したので今年度は北、西両地区へその主力が注がれることとなる。

### 公債償還に七三三万円

公債費はいわゆる借金の返済費用のことであるが、今年度は元利合計で約七三三万円が計上されている。これは主として長期債の年賦償還にあてられるわけであるが、年間七三三万円という額は当町財政の苦しさそのままだと反映しているといえよう。

### 林業普及員、新年度から常駐となる

これは、林業経営区の改編によつて合川町、上小阿仁村が一つの経営区となつたことによつて実現したもので、今後の造林や伐採資金の借入等の林業指導に大きな利益をもたらすものと期待が大きい。

### 南中学校に部分林造成

次に財産費を見てみよう。南中学校に記念部分林(三町歩)が造成されることになった。

### 林業関係について

前年度に比し大きな変化はないが、新年度から林業普及員が役場に常駐することになったことが目新しい点としてとりあげられる。

### 公債償還に七三三万円

公債費はいわゆる借金の返済費用のことであるが、今年度は元利合計で約七三三万円が計上されている。これは主として長期債の年賦償還にあてられるわけであるが、年間七三三万円という額は当町財政の苦しさそのままだと反映しているといえよう。

### 多面的な農業指導と集団的な農業経営意識の向上

農業費について見ると、約一九二万円が土壤調査費の助成その他に計上されている。土壤調査は昨年度まで完了したので今年度は北、西両地区へその主力が注がれることとなる。

### 失対事業

失業対策事業は本年度は打切りになる公算が強かつたのであるが、国の予算が増額になった関係で今年度も引き続き増加することになり、一日十五人の枠で事業を行うべく事業費約一五〇万円が確保されている。

### 健全財政を固める才入

才入に關してみると町税は去年度と同様であり、自動車税は廃止の予定であるが、これに替る財源が決定していないので一応計上されている。しかしこれは実際には賦課にならないものと見てよいであろう。

### 直線道路橋の着工と防災事業の見通し

ある直線道路も財政あるいは潰地の問題を克服しながら土工事は殆んど完了し、いよいよ今年度からは橋梁の着工に主力を傾け、予算として六〇〇万円が計上されている。

### 優先された教育費

教育費をみると昨年度より約一三〇万円の増となり増額になった関係で今年度も引き続き増加することになり、一日十五人の枠で事業を行うべく事業費約一五〇万円が確保されている。

### 従来滞りを一掃

合川町は誕生以来相次ぐ火災、水害に悩まされ、それに付随して消防費も各年度の計画が実行出来なかつたが、昭和三十三年度追加更正でこれを一掃、それととも三十三年度には第三分団(西地区)自動車ポンプ購入費負担分五〇万円(三十四年度も同額計上予定)第二分団(北地区)ポンプ購入に一五〇万円、鉄製望楼一基(場所未定)五〇万円をそれぞれ地元負担と同額を計上したほか、ホース二十本購入費として二十八万円を見込み、さらに南地区には水防倉庫設置費として十六万八千円を計上する等今年度の消防予算は旧年に比しぐつと好転したものとみていると思われ。

### 多面的な農業指導と集団的な農業経営意識の向上

農業費について見ると、約一九二万円が土壤調査費の助成その他に計上されている。土壤調査は昨年度まで完了したので今年度は北、西両地区へその主力が注がれることとなる。

### 公債償還に七三三万円

公債費はいわゆる借金の返済費用のことであるが、今年度は元利合計で約七三三万円が計上されている。これは主として長期債の年賦償還にあてられるわけであるが、年間七三三万円という額は当町財政の苦しさそのままだと反映しているといえよう。

### 法律改正で変化

才入に關してみると町税は去年度と同様であり、自動車税は廃止の予定であるが、これに替る財源が決定していないので一応計上されている。しかしこれは実際には賦課にならないものと見てよいであろう。

### 直線道路橋の着工と防災事業の見通し

ある直線道路も財政あるいは潰地の問題を克服しながら土工事は殆んど完了し、いよいよ今年度からは橋梁の着工に主力を傾け、予算として六〇〇万円が計上されている。

### 優先された教育費

教育費をみると昨年度より約一三〇万円の増となり増額になった関係で今年度も引き続き増加することになり、一日十五人の枠で事業を行うべく事業費約一五〇万円が確保されている。

### 従来滞りを一掃

合川町は誕生以来相次ぐ火災、水害に悩まされ、それに付随して消防費も各年度の計画が実行出来なかつたが、昭和三十三年度追加更正でこれを一掃、それととも三十三年度には第三分団(西地区)自動車ポンプ購入費負担分五〇万円(三十四年度も同額計上予定)第二分団(北地区)ポンプ購入に一五〇万円、鉄製望楼一基(場所未定)五〇万円をそれぞれ地元負担と同額を計上したほか、ホース二十本購入費として二十八万円を見込み、さらに南地区には水防倉庫設置費として十六万八千円を計上する等今年度の消防予算は旧年に比しぐつと好転したものとみていると思われ。

### 多面的な農業指導と集団的な農業経営意識の向上

農業費について見ると、約一九二万円が土壤調査費の助成その他に計上されている。土壤調査は昨年度まで完了したので今年度は北、西両地区へその主力が注がれることとなる。

### 公債償還に七三三万円

公債費はいわゆる借金の返済費用のことであるが、今年度は元利合計で約七三三万円が計上されている。これは主として長期債の年賦償還にあてられるわけであるが、年間七三三万円という額は当町財政の苦しさそのままだと反映しているといえよう。

### 健全財政を固める才入

才入に關してみると町税は去年度と同様であり、自動車税は廃止の予定であるが、これに替る財源が決定していないので一応計上されている。しかしこれは実際には賦課にならないものと見てよいであろう。

### 直線道路橋の着工と防災事業の見通し

ある直線道路も財政あるいは潰地の問題を克服しながら土工事は殆んど完了し、いよいよ今年度からは橋梁の着工に主力を傾け、予算として六〇〇万円が計上されている。

### 優先された教育費

教育費をみると昨年度より約一三〇万円の増となり増額になった関係で今年度も引き続き増加することになり、一日十五人の枠で事業を行うべく事業費約一五〇万円が確保されている。

### 従来滞りを一掃

合川町は誕生以来相次ぐ火災、水害に悩まされ、それに付随して消防費も各年度の計画が実行出来なかつたが、昭和三十三年度追加更正でこれを一掃、それととも三十三年度には第三分団(西地区)自動車ポンプ購入費負担分五〇万円(三十四年度も同額計上予定)第二分団(北地区)ポンプ購入に一五〇万円、鉄製望楼一基(場所未定)五〇万円をそれぞれ地元負担と同額を計上したほか、ホース二十本購入費として二十八万円を見込み、さらに南地区には水防倉庫設置費として十六万八千円を計上する等今年度の消防予算は旧年に比しぐつと好転したものとみていると思われ。

### 多面的な農業指導と集団的な農業経営意識の向上

農業費について見ると、約一九二万円が土壤調査費の助成その他に計上されている。土壤調査は昨年度まで完了したので今年度は北、西両地区へその主力が注がれることとなる。

### 公債償還に七三三万円

公債費はいわゆる借金の返済費用のことであるが、今年度は元利合計で約七三三万円が計上されている。これは主として長期債の年賦償還にあてられるわけであるが、年間七三三万円という額は当町財政の苦しさそのままだと反映しているといえよう。

### 法律改正で変化

才入に關してみると町税は去年度と同様であり、自動車税は廃止の予定であるが、これに替る財源が決定していないので一応計上されている。しかしこれは実際には賦課にならないものと見てよいであろう。

### 直線道路橋の着工と防災事業の見通し

ある直線道路も財政あるいは潰地の問題を克服しながら土工事は殆んど完了し、いよいよ今年度からは橋梁の着工に主力を傾け、予算として六〇〇万円が計上されている。

### 優先された教育費

教育費をみると昨年度より約一三〇万円の増となり増額になった関係で今年度も引き続き増加することになり、一日十五人の枠で事業を行うべく事業費約一五〇万円が確保されている。

（二頁より続く）  
なお長期債元利償還金のほか一時借入金と見出しとして約二五万円も予算に計上された。

◇国保への繰出し  
二百万円  
今年度も国民健康保険特別会計に二〇〇万円の繰出金が計上されたが、この繰出金は漸次減少していくべきことが望ましく、将来は国保への繰出しを皆無にするよう期待したいものである。

◇好転した国保財政  
国民健康保険特別会計では三十一年度末に国保運営協議会の答申により赤字解消計画（四カ年で四四三万円）を樹て、国及び県の援助を得て実施してきたところであるが、三十二年度末までに二〇〇万円の赤字を解消しており、現行制度でいくと本年度には殆んど全額に近い赤字解消が見込まれている。

しかし国保関係の法律が改正され、給付が増加して利便が拡大されること、新年度内に確定する国保税の負担が現行でいけるかどうかの疑問が生ずることは必至で、こうなると赤字解消計画も変更を余儀なくされるのと考えられる。

◇病院施設を整備  
医療陣の強化に努力  
国保直営診療施設（診療所）については、昨年病棟増築に伴って病院として発足し、医師の増員等を行って内容充実につとめているわけであるが、この病棟増築（十五床）の財源を診療報酬の増加という甚だしく不安定なところに求めている関係から、昨年度同様今年度の国保直営施設の財政は苦難の途を辿ることになる。

しかし町当局は町民の利便のためにさらに北あるいは南分院の医療陣の充実も考慮している模様で、充前に大学当局をはじめ、関係機関と積極的に協議を重ねて

いるが、旧来よりなおいつ地元部落と協議の上で実行する利便が拡大する方向を見出すよう当局の努力に期待したいところである。

◇西保育所  
新年度から開設  
保育施設特別会計は関係備が進められている。

また西保育所は新年度から開設できるようにその準備が進められている。

### 消防陣に新威力 西地区に自動車ポンプ

町では、昨年来第三分団体の消防陣にあたらしい威力を期待するべく計画していたが、十日西地区でポンプ交付式を挙行政した。

到着した自動車はニッサン五八型一〇五馬力の優秀なポンプをもちろん町全車と同地区にもちろん町全

春の清掃には  
次のことに注意して

春になつて家の中よごれや、ゴミがめだちはじめ

### 火の用心!! 山火事に気をつけましょう

（合川町森林組合）  
（合川町消防団）

4月5月は山火事の多い季節です。秋田県だけで毎年100町歩〜500町歩の林野が焼失しております。山火事は単に森林資源を失うだけでなく人家への延焼、治水機能の破壊などいろいろの影響を与えます。山火事は、焚火の不始末、タバコの吸殻などのちよつとした不注意から発生しております。また火入れから火事になることもあります。これも時期、時間などに注意すれば火事になることはありません。山火事を防ぐためには次の注意が大切です。お互いに注意して大事な資源を守りましょう

- （火入れの時期）
- 1 まず所管の市町村役場で許可をうけること。
  - 2 なるべく雪の残っているうちにうけること。＝雪が防火線の役目をしてくれます＝
  - 3 9時から14時ごろまでは、一番火事になりやすいからなるべくさけること。
- （一般行楽者の注意）
- 1 タバコの火や焚火は確実に消すこと。
  - 2 野山での火遊びはやめること。

### 町内各校の 運動会日程

- こう例の春季運動会は五月に入ると各地でぎやかに行われるが町内各小中学校の日程がこのほど次のとおりです。（いづれも）
- ◇小中合同の予定
  - ◇東小中学校 五月十三日（火）
  - ◇西小中学校 五月九日（金）
  - ◇南小中学校 五月十日（土）
  - ◇北小中学校 五月十一日（日）

どこの家でも大掃除を行う時期になりました。ことしも「蚊やハエのいない清潔な環境」を作りたいため、そのためにみんなが協力して次のことを行ってほしいです。

- ◇家の中の暖い場所、便所の汲取口やゴミ箱の周囲の下のなどには蚊の成虫がひそんでいますから殺虫剤（液体）を散布します
- ◇家のまわりの溝はよく流れるようにし、防排水など蚊の発生しそうな場所は清潔にしておきます
- ◇タタミは必ず干し、床には殺虫剤（粉末）をまいておけばノミの発生を防げます。
- ◇ネズミはできるだけ器具や薬剤を使って駆除するようにします。民生課へ

### あとかき

三十三年度の予算もきまじり今月からいよいよ新年度合川町も合併第四年度の春を迎えた。

予算上からみるとことしも財政的に困難な年らしいが各位とともに町政のいろいろな施策には大いに期待したいところ。

◇年度末事務の輻輳や旅行（婦人会引率上京）などでもたまたま発行が停滞し、上司からはお目玉をちょうだいしながらもどうやら編集を了した。

本号は新年度予算を主体にとりあげてみたが各位からの御意見をいただければ幸いです。

◇広報「あいかわ」も誕生して四才の春。

幸いにしる新年度広報予算も昨年を若干上回る額がいただけた編集より、ますます研鑽をかさねより、いよいよ広報にしたいと考えているので以前にもまして町民各位の御支援をお願いする次第です。

ではみなさん次号でまた  
（杉淵生）

## 昭和33年度合川町一般会計歳入歳出予算款別表（単位円）

歳 入				
款 別	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	主 なる 歳 入
1 町 税	24,553,000	21,890,000	2,663,000	町民税4,950,000 固定資産税11,404,000 自転車荷車税568,000 木取税5,154,000 その他2,477,000
2 地 方 交 付 税	18,156,000	16,304,000	1,952,000	
3 公営企業及び財産収入	500,000	500,000	0	
4 使用料及び手数料	257,000	257,000	0	建物使用料、戸籍証明、督促その他の手数料
5 国 庫 支 出 金	1,829,000	4,498,000	△ 2,669,000	教材費負担金365,000 財政再建債利子補給401,000 失対補助863,000 その他200,000
6 県 支 出 金	2,977,000	1,469,000	1,508,000	各種県費補助金
9 寄 附 金	247,000	625,000	△ 378,000	一般寄附、その他の寄附金
10 繰 越 金	10,000	10,000	0	前年度繰越金
11 雑 収 入	665,000	366,000	299,000	過年度収入、その他
12 町 債	5,000,000	0	5,000,000	土木費
合 計	54,194,000	45,819,000	8,375,000	
歳 出				
款 別	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	主 なる 歳 出
1 議 会 費	1,224,000	1,044,000	180,000	議員報酬797,000 その他
2 役 場 費	11,355,000	9,435,900	1,919,100	職員給5,232,000 旅費900,000 交際費600,000 諸手当3,183,000 需用費1,440,000 その他
3 消 防 費	2,941,000	2,328,000	613,000	報酬330,000 旅費352,000 需用費1,951,000 水防費229,000 その他
4 土 木 費	7,635,000	1,750,000	5,885,000	災害復旧費774,000 道路橋梁改良費6,798,000 都市計画費63,000
5 教 育 費	8,200,000	6,916,000	1,284,000	委員会費1,252,000 小学校費2,770,000 中学校費2,138,000 施設整備費950,000 社会教育費1,090,000
6 社会労働施設費	2,425,000	3,287,000	△ 862,000	失対事業費1,503,000 児童福祉費435,500 社会福祉費358,000 その他
7 保 健 衛 生 費	972,000	994,000	△ 22,000	伝染病予防費338,000 結核予防費590,000 その他
8 産 業 経 済 費	5,496,000	6,494,000	△ 998,000	農業委員会費1,533,000 農業費1,918,000 畜産費2,024,000 その他
9 財 産 費	734,000	848,000	△ 114,000	基本財産造成費264,000 財産管理費470,000
10 統 計 調 査 費	68,000	66,500	1,500	諸統計調査費

款別	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	主なる歳出
11 選挙費	254,000	132,000	122,000	衆議院議員選挙費, その他
12 公債費	7,576,000	7,131,000	445,000	長期債元利償還金, その他
13 諸支出金	4,431,000	3,769,500	661,500	徴税費, 繰出金, 諸負担金, 納付金, その他
14 予備費	732,000	774,000	△ 42,000	
<b>合計</b>	<b>54,194,000</b>	<b>45,819,000</b>	<b>8,375,000</b>	

国民健康保険特別会計歳入歳出款別表

歳入				歳出					
款別	本年度予算額	前年度予算額	前年度比較		款別	本年度予算額	前年度予算額	前年度比較	
			増	減				増	減
1 国民健康保険税	6,145,000	6,211,000		66,000	1 役場費	1,095,000	958,000	137,000	
2 財産収入	9,000	138,000		129,000	2 保険給付費	9,193,000	9,142,000	51,000	
3 手数料	45,000	12,000	33,000		3 保険施設費	402,000	253,000	149,000	
4 国庫支出金	3,636,000	3,493,000	143,000		4 財産費	250,000	250,000	-	-
5 県支出金	1,000	1,000	-	-	5 公債費	122,000	122,000	-	-
6 繰入金	2,000,000	2,001,000		1,000	6 諸支出金	2,246,000	3,018,000		772,000
7 繰越金	1,000	1,000	-	-	7 予備費	50,000	50,000		
8 雑収入	1,521,000	1,936,000		415,000	<b>合計</b>	<b>13,358,000</b>	<b>13,793,000</b>		<b>435,000</b>
<b>合計</b>	<b>13,358,000</b>	<b>13,793,000</b>		<b>435,000</b>					

国保直営診療施設(倉院)特別会計歳入歳出予算款別表

歳入				歳出					
款別	本年度予算額	前年度予算額	前年度比較		款別	本年度予算額	前年度予算額	前年度比較	
			増	減				増	減
1 診療収入	8,298,100	7,635,100	663,000		1 施設費	12,560,000	12,225,300	334,700	
2 一部負担金	5,805,000	4,805,000	1,000,000		2 財産費	261,000	232,200	28,800	
3 国庫支出金	100	100	-	-	3 公債費	151,000	104,900	46,100	
4 財産収入	42,100	48,100		6,000	4 諸支出金	1,230,300	75,200	1,155,100	
5 手数料	194,100	164,100	30,000		5 予備費	152,400	70,000	82,600	
6 繰入金	200	200	-	-	<b>合計</b>	<b>14,354,700</b>	<b>12,707,600</b>		<b>1,647,100</b>
7 繰越金	10,000	10,000	-	-					
8 雑収入	5,100	45,000		33,900					
<b>合計</b>	<b>14,354,700</b>	<b>12,707,600</b>	<b>1,647,100</b>						

昭和31年度一般会計決算総括表 (単位円)

歳入						歳出					
款	予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算額増減	款	予算額	流用増減額	予算現額	支出済額	不用額
1 町税	24,050,000	27,837,703	23,944,078	3,893,625	△ 105,922	1 議会費	1,074,500	106,519	1,181,019	1,181,019	
2 地方交付税	19,216,000	19,216,000	19,216,000	-	-	2 役場費	15,988,200	158,920	16,147,120	16,147,120	
3 公営企業及び財産収入	1,800,000	1,324,980	1,324,980	-	△ 475,018	3 消防費	1,990,300		1,990,300	1,975,853	14,447
4 使用料及び手数料	257,000	318,780	318,780	-	61,780	4 土木費	7,266,000		7,266,000	7,136,221	129,779
5 国庫支出金	6,610,500	6,584,483	6,584,483	-	△ 26,017	5 教育費	12,376,700		12,376,700	11,879,835	496,865
6 県支出金	1,836,002	1,217,968	1,217,968	-	△ 618,034	6 社会及び労務施設費	3,942,200	36,492	3,978,692	3,978,692	
8 寄附金	2,696,001	2,090,000	2,090,000	-	△ 606,001	7 保健衛生費	1,252,180		1,252,180	1,233,882	18,298
11 雑収入	276,001	157,000	157,000	-	△ 119,001	8 産業経済費	7,548,900		7,548,900	6,652,748	896,152
12 町債	17,000,000	17,000,000	17,000,000	-	-	9 財産費	587,000		587,000	443,857	143,143
<b>合計</b>	<b>73,741,505</b>	<b>75,746,916</b>	<b>71,853,291</b>	<b>3,893,625</b>	<b>△ 1,888,213</b>	10 統計調査費	75,500		75,500	69,000	6,500
						11 選挙費	180,290		180,290	171,148	9,142
						12 公債費	3,058,000		3,058,000	2,896,251	161,749
						13 諸支出金	18,099,800		18,099,800	18,086,902	12,898
						14 予備費	301,934	△ 301,930	3		3
						<b>合計</b>	<b>73,741,504</b>		<b>73,741,504</b>	<b>71,852,528</b>	<b>1,888,976</b>

歳入歳出差引残額 763円 (翌年度へ繰越金)